

事務事業評価シート

評価年度	令和元年度	対象事業年度	平成30年度
------	-------	--------	--------

所属・担当者氏名	福祉部 児童福祉課 児童福祉グループ 福西 恒美	評価責任者 (担当課長)	児童福祉課長 辻 猛之
----------	--------------------------	-----------------	-------------

1. 事務事業の種類

① 事務事業の名称	地域子育て支援拠点事業	② 整理番号	02050101-002
③ 第4次総合計画の施策の体系	章	心豊かな市民・教育・福祉	
	節	子どもを育てやすいまちづくりの推進	
	項	総合的な子育て支援施策の展開	
	号	相談・支援体制の充実	
④ 関連する個別計画	なし	⑥ 事務の種類	自治事務
⑤ 根拠法令・条例等	児童福祉法 子ども子育て支援法		

2. 事務事業の概要

① 目的 (何のために)	・常設の地域の子育て拠点を設け、地域の子育て支援機能の充実を図る
② 対象 (誰・何を対象として)	・3歳未満児の家庭で子育てをしている親子を対象
③ 手段 (どのようなやり方)	①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ②子育て等に関する相談・援助の実施 ③地域の子育て関連情報の提供 ④子育て及び子育て支援に関する講習等の実施
④ 成果 (どのような効果を得ようとしているのか)	・子育て中の親子が気軽に集い、相互交流や子育ての不安・悩みを相談できる場の提供 ・地域で子育てを支援し、育児不安を解消

3. 投入された年間総事業費及び人件費の推移

※概算人件費は「人件費計算シート」による

(単位：千円,人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
① 直接事業費	510	543	475	478	(予算) 478
② 概算人件費	(2.70) 7,306	(2.69) 7,157	(2.69) 7,987	(2.70) 7,998	
(関与比率)一般職員	(0.70) 5,101	(0.69) 4,952	(0.69) 4,907	(0.70) 4,918	
(関与比率)嘱託職員			(1.00) 2,555	(1.00) 2,555	
(関与比率)臨時職員	(2.00) 2,205	(2.00) 2,205	(1.00) 525	(1.00) 525	
③ 合計(① + ②)	7,816	7,700	8,462	8,476	
④ 特定財源 (国・県支出金、市債など)	4,968	5,202	5,228	5,300	(当初予算) 5,300
⑤ 一般財源(③ - ④)	2,848	2,498	3,234	3,176	

4. 評価指標

種類	指標名	指標の算出方法等	実績値			
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
活動指標	① プレイルーム開館日数	年間開館日数	245 日	242 日	243 日	244 日
	② 親子の教室・チビッ子広場	年間開催回数	89 回	84 回	76 回	70 回
成果指標	① 子育て支援センター事業利用者	年間利用者数	10,273 人	9,306 人	8,565 人	9,149 人
	② 一日あたりの利用者	年間利用者/年間開館日数	41 人	38 人	35 人	37 人
効率指標	① 利用者一人当たりのコスト	一般財源/年間利用者数	277 円	268 円	378 円	347 円
	②					

5. 項目別評価

評価の視点	3段階評価	評価の根拠
①妥当性 (目的及び市の関与は妥当ですか)	A	少子化や地域社会の変化などに対応するため、地域において子育て親子の交流等の促進する子育て支援拠点を設置することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的としており、市が実施すべき事業である。
②有効性 (成果は向上していますか、向上していない場合向上のために改善の余地はありますか)	A	利用者のニーズに合わせたプログラムを提供することで、利用者同士のコミュニケーション力がアップし広場では多様な大人や子供同士のかかわりが多く見られるようになり、利用者同士の距離が縮まり、子育て力が向上している。
③効率性 (コスト・受益者負担は適切ですか、不適切な場合改善の余地はありますか)	A	事業の効果を維持しながら、既にコスト削減対策を実施しており、これ以上の削減は困難である。

6. 今後の方向性 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善・見直しの内容(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)
A	<input type="checkbox"/> 人件費の重点化 <input type="checkbox"/> 予算の重点化 <input type="checkbox"/> 事業の縮小 <input type="checkbox"/> 事業の統合 <input type="checkbox"/> 実施内容の変更 <input type="checkbox"/> その他

7. 2次評価 A 現状のまま継続、B 見直し(重点化、縮小、統合など)のうえ継続、C 休止、D 完了・廃止

判定	具体的な改善内容・改善計画(「B 見直しのうえ継続」の場合に限る。)